

# 田尻町まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況及び効果検証調書

平成30年3月30日作成

田尻町総務部企画人権課

総合戦略進捗状況及び効果検証調査

基本目標	数値目標	(1)基本方向					
【ひと】 1. 若者の人口流入を確保し、地元定着を促進する	■25歳から39歳までの転入超過数 5年間で100人	・若い世代の転入が概ね泉州地域から生じており、また日常生活圏も泉州地域を中心に行っていることから、若い世代の転入を促進するとともに、地域の特性を生かして、充実した生活を送り、住み続けられるように、地元定着を促進する。					
(2) 具体的な施策及び重要業績評価指標 (KPI)							
施策	事業	KPI (H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
転入・定住の促進	○シティプロモーションの推進 ○税の優遇策 ○三世代同居等支援	25歳から39歳までの転入超過数 — 人 ⇒ 5年間で 100人	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			—	39人	24人 H28～H29合計 63人		
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
				○シティプロモーション活動として平成28年9月よりふるさと納税制度を拡充。その他キャラクターグッズ作成などの取組みを実施した。 ○平成29年度から3年間町民税を10%減税するため平成28年9月議会で条例を改正した。 ○三世代同居・近居生活を始める方への助成制度を平成28年10月から開始した。 ○転入・定住を促進するため、自己の居住する住宅を取得した方への助成制度を平成29年1月から開始した。 ○銀行と連携し、転入・定住促進及び親元近居住宅ローンの取扱いを平成29年1月から開始した。	○シティプロモーション活動としてH29年度より閑空島内連絡バスにラッピング広告を実施した。 ふるさと納税実績 154件 4,253,000円 ○町民税10%減税を実施した。 ○三世代同居・近居助成実績 15件。 ○転入・定住促進助成実績 27件。 ○銀行と連携し、転入・定住促進及び親元近居住宅ローンの取扱いを引き続き実施した。 ○三世代同居・近居助成について、住宅金融支援機構と連携し、住宅ローン「フラット35」の金利引き下げをH29年12月から開始した。		
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続		

総合戦略進捗状況及び効果検証調査

基本目標		数値目標		(1)基本方向			
【ひと】 2. 子育て環境等の整備により、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		■合計特殊出生率 5年後に 1.6以上		若い世代が家庭を持ちやすい環境づくりのため、安心して働き、出産・子育て・教育がしやすい取り組みを切れ目なく行い、子どもの健やかな成長を家庭・地域で支えていくまちづくりを進める。			
(2)具体的な施策及び重要業績評価指標(KPI)							
施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
母子保健の充実	○総合的不妊不育治療助成事業 ○妊婦相談 ○乳児訪問事業 ○乳幼児健康診査	妊婦面接 100% ⇒ 100% 乳児訪問 89% ⇒ 100% 乳幼児健診受診率 ・5か月児健診 94% ⇒ 100% ・1歳6か月児健診 95% ⇒ 100% ・3歳6か月児健診 98% ⇒ 100%	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			妊婦面接 100% 乳児訪問 100% 乳幼児健診受診率 ・5か月児健診 100% ・1歳6か月児健診 100% ・3歳6か月児健診 94%	妊婦面接 100% 乳児訪問 100% 乳幼児健診受診率 ・5か月児健診 100% ・1歳6か月児健診 100% ・3歳6か月児健診 91%	妊婦面接 100% 乳児訪問 100% 乳幼児健診受診率 ・5か月児健診 100% ・1歳6か月児健診 100% ・3歳6か月児健診 96%		
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			相談事業、訪問事業等を継続実施している。	妊婦期から子育て期まで切れ目なく相談訪問等実施した。	妊婦期から子育て期まで切れ目なく相談訪問等実施した。	妊婦期から子育て期まで切れ目なく相談訪問等実施した。	平成30年度から新生児聴覚検査、産婦健診、産後ケア事業を実施します。
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続		
施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
子育て支援体制の充実	○こども医療費助成事業 ○保育事業 ○放課後児童健全育成事業 ○子育て支援センター事業 ○キッズルームの運営	こども医療費助成対象者数(通院) 1,193人 ⇒ 1,450人 保育所待機児童数 0人 ⇒ 0人 学童保育待機児童数 0人 ⇒ 0人	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			こども医療費助成対象者数(通院) 1,193人 保育所待機児童数 0人 学童保育待機児童数 0人	こども医療費助成対象者数(通院) 1,442人 保育所待機児童数 0人 学童保育待機児童数 0人	こども医療費助成対象者数(通院) 1,437人 保育所待機児童数 0人 学童保育待機児童数 0人		
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			こども医療費助成について、平成28年7月より助成対象範囲を中学校3年生から高校3年生まで拡大する。	○こども医療費助成については、平成28年7月より助成対象範囲を中学校3年生から高校3年生まで拡大した。 ○一時預かり事業に係るニーズ調査及び近隣自治体の状況調査等、実施に向けた検討を行った。 ○学童保育については、平成28年4月から指定管理者制度を導入し、保育時間の拡大(土曜日、三期休業中の保育開始時間を午前8時30分から午前8時に変更)並びに安心安全対策及び事務連絡用として入退室管理システムの導入等を行った。 ○子育て支援センターの新規事業として、平成28年度から産後交流会を開催している。 ○キッズルームでは、平成28年度から幼児及び小学校に案内チラシを配付並びに新規イベントの実施等を行った。その結果、利用者は、倍増した。	○こども医療費助成については、平成28年7月より助成対象範囲を中学校3年生から高校3年生まで拡大した。 ○一時預かり事業については、幼稚園において平成30年4月から実施します。 ○学童保育については、平成30年4月から、3～5歳児の保育所・幼稚園の保育料及び給食費の無償化を実施します。 ○平成30年度から、保育所・幼稚園にICT環境を構築し、保幼小中一貫したICT教育を実施します。 ○学童保育については、昨年度からの指定管理者制度での事業実施を継続した。 ○子育て支援センター事業として、平成28年度から引き続き健康課と合同で産後交流会を開催した。 ○キッズルームでは、引き続き保育所・幼稚園及び小学校に案内チラシを配付並びにイベントの実施等を行った。その結果、利用者は増加した。	○こども医療費助成については、昨年度拡大した助成対象を継続実施した。 ○一時預かり事業については、幼稚園において平成30年4月から実施します。 ○平成30年度から、保育所・幼稚園の保育料及び給食費の無償化を実施します。 ○平成30年度から、保育所・幼稚園にICT環境を構築し、保幼小中一貫したICT教育を実施します。 ○学童保育については、昨年度からの指定管理者制度での事業実施を継続した。 ○子育て支援センター事業として、平成28年度から引き続き健康課と合同で産後交流会を開催した。 ○キッズルームでは、引き続き保育所・幼稚園及び小学校に案内チラシを配付並びにイベントの実施等を行った。その結果、利用者は増加した。	
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続		

施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
「生きる力」を育む保・幼・小・中 一貫教育の推進と教育環境の 充実	○保幼小中一貫教育の実践 ○国際理解教育(英語教育)の実践 ○ICTを活用した授業の実践 ○施設・整備の充実 ○学校給食の充実	外国人英語指導助手配置人数 1人 ⇒2人 英検合格率の向上 1年生5級 9割 ⇒ 8割 2年生4級 5割 ⇒ 6割 3年生3級 3割 ⇒ 4割  平成29年度審議会結果として、 英検合格率の向上については、 平成30年度以降 1年生5級 9割 2年生4級 8割 3年生3級 5割 を維持に変更。	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			外国人英語指導助手配置人数 1人 英検合格率の向上 1年生5級 9割 2年生4級 7割 3年生3級 3割	外国人英語指導助手配置人数 2人 英検合格率の向上 1年生5級 9割 2年生4級 8割 3年生3級 3割	外国人英語指導助手配置人数 2人 英検合格率の向上 1年生5級 9割 2年生4級 8割 3年生3級 5割		
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			○教科等での小部会実施と合わせて、各校園所の実践を教育フォーラムで発表した。 ○保育所では外国人ALTとの交流、小学校では外国語活動の授業研究、中学校では英検を中心に据えた英語力向上が進んだ。 ○プロジェクトなどの拡大提示装置を効果的に活用した授業づくりが進んだ。 ○給食内容の充実に向け検討を行い、拡充を図った。	○教科等での小部会実施と合わせて、各校園所の実践を教育フォーラムで発表した。 ○保育所・幼稚園では外国人ALTとの交流、小学校では外国語活動の実践と関西国際センターとの交流、中学校では関西国際空港でのインタビュ体験や英検を中心に据えた英語力向上が進んだ。 ○道徳の授業づくりを始めとして、プロジェクターなどの拡大提示装置を効果的に活用した授業づくりが進んだ。 ○小学校の非構造部材の耐震対策を実施し、安全性の向上を図った。 ○次の調理委託業務更新に向け仕様の見直しを行うこととした。	○教科等での小部会実施と合わせて、各校園所の実践を教育フォーラムで発表した。 ○保育所・幼稚園では外国人ALTとの交流、小学校では外国語活動の実践と関西国際センターとの交流、中学校では関西国際空港でのインタビュ体験や英検を中心に据えた英語力向上が進んだ。 ○タブレット、電子黒板、プロジェクター等を効果的に活用したわかる授業づくりに向けた改善が進んだ。 ○小中学校における適切な教育環境の確保を図るため、空調設備の更新を行った。 ○中学校(体育館除く)の非構造部材の耐震対策を実施し、安全性の向上を図った。 ○学校給食場の改修工事を行うとともに調理業務委託業務の仕様を見直し、平成30年度より給食献立品数を4→5品目に増加させ、学校給食の充実を図るための環境整備を行った。		
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続。 英検合格率の向上についてのKPIは、平成30年度以降 1年生5級 9割 2年生4級 8割 3年生3級 5割 に変更する。		

総合戦略進捗状況及び効果検証調査

基本目標		(1)基本方向					
【まち】 3. 確かな地域の連携がある暮らしやすいまちをつくる	■住み続けたい意向 5年後に 75 %	・まちづくりに関する各住民団体の力を高め、これらの連携の下、全ての人が支え合い、互いに包摂される親密な地域社会を形成することにより、日常的にやさしく、緊急時に強いまちづくりを進める。					
(2)具体的な施策及び重要業績評価指標(KPI)							
施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
住民活動の振興	○協働のまちづくりの推進	地区会加入率 74 % ⇒ 80 %	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			74%	72%	67%		
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			転入時に地区会加入案内を配付した。	転入時に地区会加入案内を配付した。住宅開発事前協議の際に、協議者に対し、地区会加入依頼の説明を行った。	転入時に地区会加入案内を配付した。住宅開発事前協議の際に、協議者に対し、地区会加入依頼の説明を行った。		
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続		
施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
総合的防災体制の確立	○自主防災組織の育成 ○防災訓練等の促進	自主防災リーダー育成講座等の実施回数 0回/年 ⇒ 2回/年 防災訓練参加人数 640人 ⇒ 3500人	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			自主防災リーダー育成講座等の実施回数 0回/年	自主防災リーダー育成講座等の実施回数 2回/年	自主防災リーダー育成講座等の実施回数 2回/年		
			防災訓練参加人数 860人	防災訓練参加人数 1,000人	防災研修(HUG)・講演会参加人数 80人		
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			平成28年度より具体策を検討していく。	○町主催及び大阪府主催も含めて自主防災リーダー育成講座を2回実施した。 ○防災訓練への参加を地区会(防災会)の会議において啓発を行った。	○町主催及び大阪府主催も含めて自主防災リーダー育成講座を2回実施した。 ○防災研修(HUG)・講演会を実施し、災害の具体イメージを深め、知識と意識の向上を図った。		
効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証			
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続		

施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
災害に強いまちづくりの促進	○住宅耐震診断・耐震改修事業	住宅耐震診断・耐震改修 0件 ⇒ 10件	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			0件	耐震診断 3件 耐震改修 0件	耐震診断 1件 耐震改修 0件		
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			平成28年度より具体策を検討していく。	広報や防災訓練などを通じ広く住民周知に取り組んだ。	広報による住民周知を行った。		
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続		
施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
生涯にわたる元気づくり活動の促進	○健康増進事業	元気トライ活動参加人数 145人 ⇒ 200人	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			149人	118人	約1,000人		
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			食育イベント・体力年齢測定・ハイキング等スマイル元気トライ活動として実施した。	スマイル元気トライ活動としては、活動推進を重点として啓発(便りや掲示物等)を実施。参加実施事業としては、食育イベントと体力年齢測定を実施した。	春のウォーキング教室と秋に体力年齢測定・食育イベントを含めた健康イベントを実施した。健康を運動・交流・食といった様々な切り口で、健康意識の向上を図った。また、町の魅力を発信した。		
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続		

施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
地域ぐるみの見まもり活動事業	○防犯活動 ○子どもの安全見まもり活動 ○犯罪抑止事業	パトロール活動実施回数 1回/週 ⇒ 3回/週(平成27年度) 子どもの安全見まもり隊出動箇所数 4箇所 ⇒ 1,500箇所(平成27年度) 町内における犯罪認知件数(空港島内を除く) 85件/年 ⇒ 40件/年(平成27年度)	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			パトロール活動実施回数 1回/週 子どもの安全見まもり隊出動箇所数 2,200箇所(活動物品配付件数) 町内における犯罪認知件数(空港島内を除く) 100件/年	パトロール活動実施回数 1回/週 子どもの安全見まもり隊出動箇所数 2,200箇所(活動物品配付件数) 日常登下校時を中心とした着用 町内における犯罪認知件数(空港島内を除く) 95件/年	パトロール活動実施回数 1回/週 子どもの安全見まもり隊出動箇所数 2,200箇所(活動物品配付件数) 日常登下校時を中心とした着用 町内における犯罪認知件数(空港島内を除く) 88件/年		
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			○パトロール用ベスト(50着)を購入し、年末夜警をはじめ各種パトロールに活用することにより防犯意識の向上に資した。 ○町民みんなで児童を見守ってもらうべく、町内地区会全世帯と見守り活動関係者に活動物品(帽子・ベスト)を配付し、児童の登下校時に着用し見守っていたくよう啓発した。 ○防犯カメラを通学路に10台設置することにより、児童の登下校の安全確保の他、犯罪の抑止に資した。	○パトロール用ベストを着用し、年末夜警をはじめ各種パトロールを実施することにより防犯意識の向上に資した。 ○毎学期の終業式の登校時を町をあげての「見まもりデー」として町広報等にて周知し、実施した。 マスコミでも取りあげられ、今後も継続していくことで徐々に住民意識の向上を図る。	○パトロール用ベストを着用し、年末夜警をはじめ各種パトロールを実施することにより防犯意識の向上に資した。 ○毎学期の終業式の登校時を町をあげての「見まもりデー」として町広報等にて周知し、実施した。 見まもり隊配置箇所数を4箇所から5箇所に増やした。 ○防犯カメラ6台増設することにより、住民の安全確保の他、犯罪の抑止に資した。(町設置台数合計38台) ○町内約50箇所の防犯灯をLED化することにより電球切れが減少し、夜間の安全確保や犯罪の抑止に資した。(今年度で町内防犯灯のLED化は完了)		
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続。 子どもの安全見まもり隊出動箇所数についてのKPIは、定点箇所と各戸箇所に分ける。 4箇所 ⇒ 5箇所 0箇所 ⇒ 1,500箇所		

施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
広域行政・広域連携の推進	○広域行政・広域連携の強化	広域連携事務数 40事務 ⇒ 55事務	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			40事務	60事務	65事務		
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			3市3町の広域連携勉強会において、 調査・研究を行った。	平成28年4月より環境農林水産行政に 関する事務(14事務)について、3市3町 での枠組みで事務移譲を行った。 平成29年1月より広域福祉課におい て、新たに障害者手帳交付事務(2事 務)について、事務移譲を行った。	平成29年10月より2市2町による広域まち づくり課を共同設置した。		
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の 進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業 の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の 進捗状況及び効果検証を行った。 継続		



総合戦略進捗状況及び効果検証調査

基本目標		(1)基本方向					
【しごと】 4. 地域資源を活かして活発な交流活動を促進する	■ 交流人口 5年後に 15 万人	・歩いて巡ることのできる町の特性を活かし、多様な人が集まり、交流する、町の核となるゾーンを充実し、まちなかにあるさまざまな地域資源を結び合わせて、産業の活力とにぎわいを創造する。					
(2)具体的な施策及び重要業績評価指標(KPI)							
施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
商工業の振興と雇用・就業	○地域就労支援事業	就労相談件数 41 件 ⇒ 50 件	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			26件	29件	23件		
			具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況
			相談件数には就労支援講座参加申込者への聞き取りも件数としてカウントしているが、H27は講座申込者がほとんどいなかった。(平成26年度は3講座合わせて16名、平成27年度は1名)。その他の相談件数は横ばいである。平成28年度より就労支援講座の種類を増やし、開催時期を早める等、より参加希望者が増える形態に工夫していく。	相談件数は29件あり、そのうち14人が就労した。就労支援講座については、介護職員初任者研修やフオークリフト研修を実施した。	相談件数は23件あり、そのうち6人が就労した。就労支援講座については、医療事務研修や調剤薬局事務研修を実施した。		
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続		
施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
農漁業と観光・交流の推進	○観光振興体制の整備 ○農漁業の連携 ○地元特産品づくりの推進 ○観光プロモーションの推進	交流人口 12 万人 ⇒ 15 万人 プロモーション実施回数 2 回 ⇒ 3 回	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			交流人口 12万人	交流人口 12万人	交流人口 12万人		
			プロモーション実施回数 2回	プロモーション実施回数 2回	プロモーション実施回数 2回		
			具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況
			平成28年度に向けて、引き続き南泉州観光キャンペーン協議会と連携しイベントを決定していく。	○南泉州観光キャンペーン推進協議会のイベントや浜プランの拡充を図った。 ○農漁業の連携は、日曜朝市や農業祭との連携を強化した。 ○地元特産品は、吉見早生の玉ねぎの知名度向上に努めた。 ○泉州観光プロモーション推進協議会等において、プロモーションを実施し町の魅力を発信した。	○国の交付金を活用し、漁家レストランを整備した。 ○観光施設の受入体制整備として、漁港のトイレを洋式化した。 ○農漁業の連携は、日曜朝市や農業祭との連携を強化した。 ○地元特産品は、吉見早生の玉ねぎの知名度向上に努めた。 ○泉州観光プロモーション推進協議会等において、プロモーションを実施し町の魅力を発信した。 ○(仮称)泉州観光DMOの設立に向け取り組んだ。		
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続					

施策	事業	KPI(H26⇒H31)	H27	H28	H29	H30	H31
コミュニティビジネスの促進	○コミュニティサポート事業	コミュニティサポート活動件数 － 件 ⇒ 1 件	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			—	0件	0件		
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			平成28年度より具体策を検討していく。	引き続き事業の調査研究を行っていく。	現在、農業委員会が主体となって、吉見早生の玉ねぎの大量生産を始めている。 今後は、販売拡大とともにブランド化を確かなものとするために運営の充実に向け研究していく。		
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			平成28年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成29年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	平成30年3月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続		